



本と音楽の素敵な出会い

Ohagi Yasuji
Hirano Keiichiro

マチネの終わりに

芥川賞作家・平野啓一郎のベストセラー小説「マチネの終わりに」
大萩康司のギターと共に作品の魅力をトークと演奏でお届けします

出演 |
平野 啓一郎 (小説家)
大萩 康司 (ギター)
浦久 俊彦 (ナビゲーター)

At the End of
the Matinee

2022 10.23

Sun(日) 14:00開演 (13:00開場)

サラマンカホール 岐阜市藪田南 5-14-53

PROGRAM

タレガ：アルハンブラの思い出

バリオス：大聖堂

ガーシュウィン：サマータイム

菅野祐悟：幸福の硬貨(映画「マチネの終わりに」メインテーマ)ほか

* 曲目・曲順が変更になる場合があります。

全指定席

S 4,000円 A 2,000円

サラマンカメイト：S 3,600円 A 1,800円

※ 学生半額 (30歳まで)。 ※ 未就学児の入場はご遠慮ください。

※ A席・学生券・車いす席は、サラマンカホールチケットセンターのみの取扱いです。

発売日

サラマンカメイト
先行 2022 7/15 [金]

一般 2022 7/20 [水]

電話・インターネット9:00～ / 窓口12:00～

主催：サラマンカホール

©SHIMON SEKIYA

チケットのお求め | サラマンカホール チケットセンター

058-277-1110 [9:00～21:30]

チケットぴあ t.pia.jp Pコード: 217-596
イープラス eplus.jp Famiポート

チケットのネット予約は公式サイト
「サラマンカ・オンラインチケット」で

サラマンカホール 検索



ご来場の皆様へ
新型コロナウイルス感染防止対策ご協力をお願い

本公演は、国・県・業界団体のガイドラインに則って開催いたします。
ご来場の際は、マスクの着用、手指消毒等のご協力をお願いいたします。
詳しくはサラマンカホール公式サイト、当日の館内掲示にてご確認ください。

平野 啓一郎 | 小説家 | Hirano Keiichiro

1975年愛知県蒲郡市生。北九州市出身。京都大学法学部卒。1999年在学中に文芸誌「新潮」に投稿した『日蝕』により第120回芥川賞を受賞。40万部のベストセラーとなる。
以後、一作毎に変化する多彩なスタイルで、数々の作品を発表し、各国で翻訳紹介されている。2004年には、文化庁の「文化交流使」として一年間、パリに滞在した。美術、音楽にも造詣が深く、日本経済新聞の「アートレビュー」欄を担当(2009年～2016年)するなど、幅広いジャンルで批評を執筆。2014年には、国立西洋美術館のゲスト・キュレーターとして「非日常からの呼び声 平野啓一郎が選ぶ西洋美術の名品」展を開催した。同年、フランス芸術文化勲章シュヴァリエを受章。また、各ジャンルのアーティストとのコラボレーションも積極的に行っている。著書に、小説『葬送』、『滴り落ちる時計たちの波紋』、『決壊』、『ドーン』、『空白を満たしなさい』、『透明な迷宮』、『マチネの終わりに』、『ある男』等、エッセイ・対談集に『私とは何か「個人」から「分人」へ』、『生命力』の行方～変わりゆく世界と分人主義』、『考える葦』、『カッコいい』とは何か』等がある。2019年に映画化された『マチネの終わりに』は、現在、累計60万部超のロングセラーとなっている。『空白を満たしなさい』を原作とする連続ドラマが2022年6月下旬よりNHKにて放送予定、『ある男』を原作とする映画が2022年秋に公開予定。



大萩 康司 | ギター | Ohagi Yasuji

パリのエコール・ノルマル音楽院、パリオ国立高等音楽院で学ぶ。ハバナ国際ギター・コンクール第2位、併せて審査員特別賞「レオ・ブローウエル賞」を受賞。その後4年間イタリアのキジアーナ音楽院でオスカー・ギリアに師事し、4年連続最優秀ディプロマを取得。ギターを萩原博、中野義久、福田進一、キャレル・アルムス、アルベルト・ボンセ、オリヴィエ・シャッサンの各氏に、ソルフェージュを山田順之介、リュート、テオルボ、バロック・ギターをエリック・ペロックの各氏に、室内楽をラスロ・アダディ氏に師事。これまでにNHK「ららら」クラシックやMBS「情熱大陸」、テレビ朝日「題名のない音楽会」等メディアへの出演多数。近年では2019年にNHK交響楽団(井上道義指揮)と「アランフェス協奏曲」を演奏し好評を博したほか、ラ・フォル・ジュルネTOKYO、セイジ・オザワ松本フェスティバル、霧島国際音楽祭、宮崎国際音楽祭等の代表的な音楽祭に定期的に招かれている。また、モスクワ、コロンビア、キューバ、台湾等での国際フェスティバルにもソリスト及びマスタークラス講師として招かれている。2020年にはデビュー20周年を迎えた。第6回ホテルオークラ音楽賞、第18回出光音楽賞受賞。洗足学園音楽大学、大阪音楽大学各客員教授。宮崎生まれ。
公式ウェブサイトhttp://ohagiyasuji.com/



マチネの終わりに

芥川賞作家・平野啓一郎のベストセラー小説で2019年に福山雅治・石田ゆり子主演で映画化もされた「マチネの終わりに」。作中にも登場したクラシックギターの演奏とトークで作品の魅力を語り合う、クラシックファンはもちろん、読書愛好家の皆さんにもお楽しみいただけるコンサートです。

- 第1部:トーク・ステージ 平野啓一郎が語る～「マチネの終わりに」とわたし
- 第2部:コンサート・ステージ 平野啓一郎と大萩康司が選ぶ～わたしの名曲たち
- 第3部:クロストーク・ステージ 出演者たちの対話
- 第4部:プレゼント・ステージ 出演者からお客様へのプレゼント曲

浦久 俊彦 | ナビゲーター | Urahisa Toshihiko

文筆家、文化芸術プロデューサー。2021年、サラマンカホール音楽監督として企画した『ぎふ未来音楽展2020』が、サントリー芸術財団第20回佐治敬三賞を受賞した。著書に、『138億年の音楽史』(講談社)、『フランク・リストはなぜ女たちを失神させたのか』(新潮社)、『オーケストラに未来はあるか』(アルテスパブリッシング)、『リベラルアーツへ「遊び」を極めて賢者になる』(集英社インターナショナル)など。



BOOK&MOVIE

◆「マチネの終わりに」
文春文庫
著書:平野啓一郎
定価:本体850円(税別)



クラシックギタリストの詩野と、海外の通信社に勤務する洋子。初めて出会った時から、強く惹かれ合っていた二人。しかし、洋子には婚約者がいた。やがて、詩野と洋子の間にすれ違いが生じ、ついに二人の関係は途絶える。お互いへの愛を絶ち切れぬまま、別々の道を歩む二人の運命が再び交わる日は来るのか...

◆映画「マチネの終わりに」
監督:西谷弘
主演:福山雅治
石田ゆり子



サラマンカメイトのご案内

特典

- チケットの先行販売
- チケットの割引(1公演2枚まで)
- ダイレクトメールによるコンサートのご案内
- グッズコーナーでの割引

※お電話(058-277-1110 入会申込書を郵送)および、インターネットでも受付しております。
※年会費2,000円
※入会申込書は、サラマンカホール チケットセンターにご用意しています。
※年会費の口座振替もご利用ください。

交通アクセス・駐車場



自動車
●JR西岐阜駅から車で約5分(南口タクシー乗り場より約2km)
●JR東海道新幹線・岐阜羽島駅および名神高速道路・岐阜羽島ICより車で約20分 ●無料駐車場完備

公共交通機関
●JR岐阜駅(北口)より「岐阜バス」で約20分
●名鉄岐阜駅より「岐阜バス」で約25分
●JR西岐阜駅(南口)より「西ぎふ・くるくるバス」で約12分
●JR東海道本線・名古屋駅から西岐阜駅まで約23分

終演後に西岐阜駅まで無料マイクロバスを運行します 正面玄関前(北側)から出発します。

客席のご案内

